

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。

Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name : 西本 一志 役職 / official position : 教授

1. 研究テーマ / Research Theme
人間が持つ創造性に代表される知的な能力をよりよく発揮することを可能とするような手法や手段、支援メディアの研究開発。特に近年のAIの発達によって危惧される、知的・創造的能力の廃用性委縮問題の解決を目的として、不便さや妨害要素、偽情報や誤情報などの工学的には一般に排除すべき負の要因を活用することにより、人の知的好奇心や向上心を触発する方法について研究する。
2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired 研究室教育は必修A科目(先端)又は研究支援科目(融合)の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。 Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects.
個人やグループ、組織などにおける各種の(協調的な)創造活動を対象として、そこにおける問題を発見する能力と、その解決策を発想し実装する能力、そしてその解決策や実装したシステムやツールの有効性を実証する能力。特に、常識的なアイデアではなく、逆転の発想のような「非常識的なアイデア」の発想力を身につけることを目指す。これらの能力を獲得することにより、研究所や企業などにおいて、指示されたことを単にこなすだけの受動的な人材ではなく、常に自ら発想し、自らテーマを立案し、その現実的解決策を自ら構築できる、高い創造性と自主性を持った能動的な研究開発者になることができる。
3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle
研究テーマ設定については各学生の自主性を重んじます。自分が向上し、創造的になるためには、いったい何が必要なのかを、まさに自分自身の切実な問題として熟考・発案し、それを研究テーマとして設定することを求めます。その上で、そのアイデアを実装し、実際に使ってみることで、その有効性を評価検証することを求めます。修士1年次のゼミでは、テーマ設定のためのブレインストーミングを徹底的に行い、問題発見力と発想力を鍛えます。修士2年次のゼミでは、研究進捗報告を通じて問題解決力とまとめる力、プレゼンテーション力を鍛えます。
4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities
<input type="checkbox"/> 日次活動 / Daily Activities : <input checked="" type="checkbox"/> 週次活動 / Weekly Activities : 基本的に毎週1回の研究室ゼミを実施する。ゼミには、研究内容にかかわらず全員が参加することを求める。各学生は、2回に1回のペースでの発表を求められる。発表の内容は、各自の研究に関するアイデア(M1学生)や進捗報告(M2学生)と、研究内容に関連して読んだ4ページ以上の論文の内容紹介である。発表内容について、発表者以外の学生も積極的に質問や追加提案などを行う。 <input type="checkbox"/> 月次活動 / Monthly Activities : <input checked="" type="checkbox"/> 不定期活動 / Occasional Activities : 個別の研究ミーティングは必要に応じて随時実施する。M1学生には、新入生導入研修として研究室配属直後の2か月間でまず一度研究計画提案書の草案を独力で作成することと、その研究計画に関連する論文を10本以上(日本人学生の場合、うち5本以上は英語論文とする)読んで要約したレポートを作成することを求める。学会発表は、博士課程学生については学術論文誌・国際会議・国内シンポジウムや研究会での積極的な発表を求める。修士課程学生については、修了までの間に2件以上の学会発表(多くの場合は情報処理学会のシンポジウムおよび研究会での発表)を求める。

5. 年間スケジュール / Annual Schedule

本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。(本学HP参照：ホーム>教育>履修関係>履修案内)

Please refer to the “Degree conferment schedule for the master’s program/doctoral program” in the “Degree Completion Guide” for university-wide common schedule (JAIST website: Home>Education>Taking Courses>Degree Completion Guide)

4月入学の修士学生に係る2年間のスケジュールは以下の通り：

- 7月～8月：新入生導入研修（研究計画書の草案作成と、関連論文10件の要約）
- 9月：新入生導入研修成果発表会、以降毎週の研究室ゼミに参加
- 10月：研究室合宿、あるいはそれに準じるイベント
- 11月～12月：副テーマ研究
- 12月：研究計画提案書第0版作成、副指導・副テーマ指導教員に提出
- 1月：研究計画提案書第0版への副指導・副テーマ指導教員からのフィードバックに基づく計画の再検討
- 3月：研究計画提案書完成、提出
- 4月：主テーマ研究への実質的な取り組みを開始
- 9月：中間発表会
- 12月：情報処理学会インタラクショナルシンポジウムへの投稿論文作成、投稿
- 1月：修士論文の執筆
- 2月：修士論文の提出、最終審査会。情報処理学会研究会への論文投稿
- 3月：情報処理学会のシンポジウムおよび研究会に参加し、発表